

令和5年度

高校生のための

熊大ワクワク

事業の記録



目 次

1. はじめに	1
2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義		
1)開講一覧	3
2)募集案内	4
3)実施状況	18
4)アンケート	21
5)講義風景	30
3. ワクワク研究室訪問		
1)実施要領	32
2)申込用紙	33
3)実施状況	35
4. 令和5年度高大連携推進関係主要行事一覧	37

1. はじめに

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行したことにより、これまで大きな制限を受けてきた高大連携事業も令和5年度は活発に実施することができました。基本的感染対策は継続して実施した上で対面での活動が多く実施できたことは、大変うれしく思います。その中で、平成24年度から開始した高大連携推進プロジェクトも多くの活動を実施させて頂きました。参加頂いた高校生の皆さん、開催にご協力頂いた高校の教職員の方々、講師を担当された熊大の先生方、大変ありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

令和5年7月29日と30日に熊本大学で開催した「高校生のための熊大ワクワク連続講義」（以下、「ワクワク連続講義」という）の「夏季プログラム」は、昨年度の6講義から9講義に講義数を増やし、のべ人数で423名の方にご参加頂きました。また、各高等学校や八代、玉名のホールで実施している「ワクワク連続講義」の「サテライト講義」は、八代、水俣、天草、人吉、鹿本、荒尾・玉名の6か所で実施し、524名の高校生に参加頂きました。「夏季プログラム」と「サテライト講義」の両方とも対面で実施することができ、参加された高校生から好評を頂いています。次年度（令和6年度）も、開催日程も見直ししながら、引き続き実施していきたいと考えています。

「ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）」は令和4年6月から募集を再開していますが、広報が十分ではなかったためか、1件のみの実施となりました。参加者のレポートからは感謝の言葉を頂いていますので、次年度はより多く実施できることを期待しています。

熊本大学では今後も高大連携事業を充実させていきたいと考えています。本事業に参加された高校生の皆さんが、研究に興味をもち、自分から課題をみつけ、より深く勉強したい、研究したいと思う対象を見つけるきっかけになれば幸いです。

令和6年3月

入試・高大連携担当副学長 市川聡夫

2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

令和5年度 開催一覧

《受講対象》高校生及び高校教諭等

地域	開催日	授業時間	講師名	学部等	専門領域	会場	コマ数
八代	6月10日(土)	[1限]10:30-12:00	小池 ウルスラ ヘレナ	大学教育統括管理運営機構	近代史:比較文化論	やつしろ ハーモニーホール	2
		[2限]13:00-14:30	米田 哲也	医学部保健学科	医学物理学		
水俣	7月8日(土)	[1限]9:00-10:30	本吉 大介	教育学部	特別支援教育心理学	県立水俣高等学校	2
		[2限]10:45-12:15	田邊 将之	工学部	医用超音波画像		
天草	7月15日(土)	同時2コマ開催	久保田 慎二	文学部	中国・東アジアの考古学	県立天草高等学校	2
		13:30-15:00	吉城 秀治	工学部	交通計画		
夏季 プログラム	7月29日(土)	[1限]10:25-11:55	宮崎 誓	教育学部	数学	本学	合計 9コマ
			田中 源吾	理学部	古生物学		
		[2限]12:55-14:25	池邊 摩依	法学部	民事訴訟法		
			入江 徹美	薬学部	医薬品適性使用学		
	[3限]14:40-16:10	伊藤 弘了	文学部	映画研究			
		菰原 義弘	医学部医学科	病理学			
7月30日(日)	[1限]10:25-11:55	坂上 拓郎	医学部医学科	呼吸器内科学	本学		
	[2限]12:55-14:25	佐藤 あゆみ	工学部	建築材料			
	[3限]14:40-16:10	田代 浩徳	医学部保健学科	健康科学講座			
人吉	9月9日(土)	同時2コマ開催	若色 敦子	法学部	商法、消費者法	県立人吉高等学校	2
		10:00-11:30	岩崎 竜之	薬学部	医薬品包装学		
鹿本	9月16日(土)	同時2コマ開催	梅田 香穂子	大学教育統括管理運営機構	分子生物学	県立鹿本高等学校	2
		13:30-15:00	大野 正久	教育学部	経済学		
荒尾玉名	9月30日(土)	[1限]9:00-10:30	阿部 悠貴	法学部	国際関係論	玉名市民会館	2
		[2限]10:50-12:20	高橋 慶太郎	理学部	天文学		

※八代、本学、荒尾・玉名地域については、参加募集は開催1か月前をめぐりに本学ホームページにて告知・募集を行います。また、該当地区の高等学校へチラシを送付する予定です。参加希望の方は高等学校の先生を通して申込をお願いします。

※ 申込者多数が定員を上回る場合は高大連携推進室にて調整を行うことがあります。

【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel : 096-342-2712
e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

in やつしろ

＝令和5年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール）

《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
6/10 (土)	1限目 (10:30-12:00)	1	Organized Humanitarianism – The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化 – 赤十字の誕生」 小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授	市民ホール
	2限目 (13:00-14:30)	2	物理が進める医療～熊本発世界の医療へ～ 米田 哲也 医学部保健学科 准教授	市民ホール

《担当の先生方へ》

《参加申込》各学校毎に、所定の申込様式(※)によりお取りまとめのうえ、**6月1日(木)**までに熊本大学 入試課(高大連携推進室)に電子メールにてお申し込みください。



※【参加申込様式】
熊本大学の公式webページ
(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)より
トップページ → 「入試案内」 →
「高大連携」 → 「ワクワク連続講義」
をクリックし、関係ページから
「参加申込書.xls」を
ダウンロードすることも可能です。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**6月5日(月)**までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

やつしろハーモニーホール案内図



【申込・問合せ】
熊本大学 学生支援部 入試課
(高大連携推進室)

TEL:096-342-2712

E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

6月10日(土) 10:30-12:00

小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授

テーマ : Organized Humanitarianism – The Birth of the Red Cross

「人道主義の組織化 – 赤十字の誕生」

内 容 : Humanitarianism is compassion towards people in need based on the idea that every human being is valuable. Human compassion has always been around, but formally organized humanitarianism started in the second half of the 19th century with the Red Cross as the most prominent example. Let's have a look at the birth of the Red Cross in different parts of the world and understand the internationally accepted fundamental principles of a global relief organization.

人道主義は、人間愛の立場から人々の福祉を図ろうとする思想態度と定義されています。人間の思いやりというのは、全ての文化において、常に存在していたと思われませんが、正式に組織化された「人道主義活動」は、19世紀後半の赤十字の誕生から始まりました。

グローバルに展開していく赤十字の歴史を学びながら、国際的救援組織の長年間の活動の中から生まれた人道主義の基本原則を理解しましょう。

講師紹介 : I was born in Switzerland and graduated from Zurich University in the field of Japanese Studies, especially Japanese modern history. After a scholarship from MEXT for a study abroad program at Tokyo University, I started to teach German at the Tokyo University of Foreign Languages and later at Hiroshima University. I came to Kumamoto University in October 2015. Presently I am a professor at the Kumamoto University Center for International Education where we offer courses taught in English and educational exchange programs to Japanese and international students.

私はスイス出身で、スイスのチューリッヒ大学で日本学科、日本近史を専攻しました。卒業後は文部省の留学生として2年間東京大学に籍を置き、その後、東京外国語大学や広島大学などで、ドイツ語講師として活躍しました。2015年の秋、熊本大学に教授として就任し、英語で授業と交流プログラムを提供する多言語文化総合教育センターの業務を担当しています。

関連教科・キーワード : 赤十字、人道主義、歴史、社会、グローバル教育

2

6月10日(土) 13:00-14:30

米田 哲也 医学部保健学科 准教授

テーマ : 物理が進める医療～熊本発世界の医療へ～

内 容 : 皆さんは、物理学と聞くとどういうイメージを持っているのでしょうか？きっと、宇宙、理論、計算、難しい！といったイメージを持っている方も多いのではないのでしょうか。確かにその通りですが、一方で物理は見えないものを計算の力で見える、そしてわかるようにしてくれる力があります。本講義では、熊本発の医療技術を通して、物理がもたらした医療技術の新たなフロンティアの一端を（計算抜きで）のぞいてみたいと思います。

講師紹介 : 大学では物理学をもちろん学びましたが、本来は文系ではないかと自覚しています。そのため、物理本流を進まなくても気にせず、物理以外のことから多くの気づきを得ることが出来ました。現在は、医工連携と呼ばれる分野に取り組み、作り上げた技術の先に人がいることを感じながら、やりがいのある仕事に取り組んでいる毎日です。

関連教科・キーワード : 物理学、化学、生物学、文学、心理学、医学、病理学、数学など

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

水俣高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が
講義をします！

《令和5年度サテライトプログラム受講生募集案内》

7月8日（土）

開催場所：熊本県立水俣高等学校

1限 9:00-10:30	苦手なこと(障害)を改善・克服するための教育 本吉 大介 教育学部 准教授
2限 10:45-12:15	体の中を見る！超音波の技術とは？ 田邊 将之 工学部 助教

【申込み・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
TEL：096-342-2712
e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp



1**7月8日(土) ① 9:00～10:30****本吉 大介 教育学部 准教授****テーマ：苦手なこと(障害)を改善・克服するための教育****内 容：**

障害がある子どもが通う特別支援学校や特別支援学級には「自立活動」という授業があります。ほとんどの人は聞いたことがない科目だと思います。

自立活動の大きな目的は“障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する”ことです。“障害”にはなじみがなくても“苦手”は誰にでもあります。

特別支援教育の考え方を参考に、自分の“苦手”との付き合い方、乗り越え方、セルフプロモーションの仕方を考えてみましょう。

講師紹介：

スポーツ選手の動きの熟達について心理学的に研究したいと思って大学で学びました。関連領域も熱心に学んだところ、身体が不自由な子どものリハビリ、障害がある子どもの教育など思いがけない方向へ進んできました。人生折り返してもいいのでまだまだ楽しみです。

【臨床心理士・公認心理師】

関連教科・キーワード：総合的な探求の時間**2****7月8日(土) ② 10:45～12:15****田邊 将之 工学部 助教****テーマ：体の中を見る！超音波の技術とは？****内 容：**

超音波（通称エコー）を用いたセンシング技術は、対象物内部を非侵襲に可視化する技術として幅広い分野で用いられています。今回は、生体への適用について簡単に説明します。

講師紹介：

私は千葉県で生まれ育ち、東京都立大学で工学を学びました。博士号を取得後、熊本大学大学院先端科学研究部（兼 工学部情報電気工学科）で助教として医用超音波に関する研究を行っています。また、2022年に熊本大学発のスタートアップとして株式会社サーモンテックを設立しました。会社の代表取締役を務め、エコーの民主化というキーワードを掲げて活動しています。

関連教科・キーワード：物理、超音波

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

天草高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が
講義をします！

《令和5年度サテライトプログラム受講生募集案内》

7月15日（土）

開催場所：熊本県立天草高等学校

同時2コマ開催 13:30～15:00	土器が語る!古代のお米調理 —東アジアの食文化史を考えてみよう— 久保田 慎二 文学部 准教授
同時2コマ開催 13:30～15:00	地域の「活性化」を考えよう! 吉城 秀治 工学部 准教授

高校の先生方へ：

所定の様式によりおとりまとめのうえ、7月5日までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月15日(土) 13:30~15:00

久保田 慎二 文学部 准教授

テーマ：土器が語る！古代のお米調理 — 東アジアの食文化史を考えてみよう —

内 容：

弥生時代には稲作が日本に伝来してお米が主食になった、というのは皆さんも勉強したと思います。その後、現代に至るまで、お米は日本の食文化の中で最も重要な食べ物であり続けました。では、お米はどうやって食べられてきたのでしょうか。この問題を解くカギは、お米を調理した土器に残されています。今回の講義では、考古学という学問や熊大考古学研究室の紹介を交えながら、お米調理の歴史について考えていきます。

講師紹介：

埼玉県出身。早稲田大学助手、東京大学研究員、金沢大学特任助教を経て2021年度より熊本大学に着任。専門は中国・東アジアの考古学。近年は古代東アジアの食文化に興味を持ち、中国や日本の各地で土器や穀物に関する調査を実施。また毎年、東南アジアや中国黄土高原で民族調査を行い、現地少数民族の米や雑穀の栽培や加工、調理の方法について観察・記録を行う。

関連教科・キーワード： 日本史、世界史

2

7月15日(土) 13:30~15:00

吉城 秀治 工学部 准教授

テーマ：地域の「活性化」を考えよう！

内 容：

地域はなぜ衰退してしまったのでしょうか？活性化ってどういうことなのでしょうか？活性化のためにはどうすればよいのでしょうか？

地域活性化を考えるためには、まちを見抜くチカラが必要です。講義ではまちの成り立ちから活性化に向けた取り組み、実際の国内外の事例もまじえて考えていきます。

講師紹介：

大阪市出身。岡山大学を卒業後、福岡大学を経て、2022年から熊本大学に着任しました。都市や地域、交通の諸問題に対して、人々の感性や行動を定量的に捉え、人々の特性にあった解決策を提案するための研究を行っています。最近では、誰にとってもわかりやすいバス路線図に関する研究や、画像認識AIを活用した交通事故予測などの研究に取り組んでいます。

関連教科・キーワード： 地理総合、数学

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

《令和5年度 夏季プログラム受講生募集案内》

開催場所：熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟

7月29日 (土)	1限 10:25~11:55	1-1	数学の研究って、何をしているの？ —数学の学び方 宮崎 誓 教育学部 教授
		1-2	カンブリア爆発と眼の化石の研究 田中 源吾 理学部 准教授
	2限 12:55~14:25	2-1	民事訴訟手続のIT化 —先生、訴訟ってZOOM参加とかできないんですか？ 池邊 摩依 法学部 准教授
		2-2	クスリはリスク？ ～悪魔の薬が命の薬に～ 入江 徹美 薬学部 特任教授
	3限 14:40~16:10	3-1	情報社会を生き抜くための映画分析入門 伊藤 弘了 文学部 准教授
		3-2	病気を顕微鏡でみる —炎症と感染 菰原 義弘 医学部医学科 教授
7月30日 (日)	1限 10:25~11:55	1	疾患の原因？それとも医薬品？ —抗体の二面性— 坂上 拓郎 医学部医学科 教授
	2限 12:55~14:25	2	ライフサイクルデザイン(LCD)がつくる未来の建築 佐藤 あゆみ 工学部 准教授
	3限 14:40~16:10	3	「がん」って遠い将来の病気？ 田代 浩徳 医学部保健学科 教授

《 講義内容 》

1-1

7月29日(土) 1時限 10:25~11:55

宮崎 誓 教育学部 教授

テーマ：数学の研究って、何をしているの？ —数学の学び方 関連教科・キーワード：数学、何にでも興味を持つこと

内容：数学を学んでいくときに、何らかの壁を感じたことはないでしょうか。新しい概念を獲得することが数学の発展の一つであり、数学の学びの大きな要素です。大学で学ぶ数学の世界を高校生にわかるように紹介します。数理の真理を解明していく過程について、歴史的背景を交えながらお話しします。数学の学習法についての私見も話したいと思っています。数学を学ぶ意欲を掻き立てることが、講演の最大の目的です。

講師紹介：熊本高校、早稲田大学出身、静岡・長野・沖縄・佐賀と2度の海外生活を経て、55歳の時に熊本に戻ってきました。専門は代数学（環論・代数幾何）、数学が好きだったことが数学者になった理由です。一人で何時間も何日も何年も考え続けることも大事ですが、コミュニケーションが研究を進歩させます。研究生活を通して、世界中のいろいろな方と出会えたことが数学者になって良かったことです。

1-2

7月29日(土) 1時限 10:25~11:55

田中 源吾 理学部 准教授

テーマ：カンブリア爆発と眼の化石の研究

関連教科・キーワード：高校生物、高校地学

内容：カンブリア爆発は、生物の進化史における大イベントの一つです。カンブリア紀は酸素濃度が上昇して、アノマロカリスを頂点とする食物連鎖網が出来上がった時代です。酸素はカンブリア爆発の起爆剤になったかもしれませんが、爆発の本質は生物自身が進化したところにあります。本講義では、カンブリア爆発を引き起こした要因について迫り、カンブリア爆発とはいったい何だったのかについて解説します。

講師紹介：1974年愛媛県生まれ。島根大学理学部卒業後、静岡大学大学院に進学。2002年博士（理学）を取得。レスター大学に留学後、京都大学研究員、群馬県立自然史博物館学芸員、海洋研究開発機構研究技術専任スタッフ、熊本大学臨海実験所研究員、金沢大学国際基幹教育院助教を経て、2021年より熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授。

2-1

7月29日(土) 2時限 12:55~14:25

池邊 摩依 法学部 准教授

関連教科・キーワード：現国（読解力）、数学（証明問題を解く思考方法）、世界史（法はローマから）

テーマ：民事訴訟手続のIT化 —先生、訴訟ってZOOM参加とかできないんですか？

内容：コロナ禍を経て、ZOOM会議や動画視聴+課題提出の学習手法など、社会のあらゆる場面でウェブを用いた手法が一般的になり、私たちは、その利点と欠点を知るようになりました。この便利な手法は「法廷」には導入されないのでしょくか？導入されるとしたら、司法という重大な場面で、その欠点が、致命的な欠陥になりはしないでしょうか？現行法を検討し、今後の展望を一緒に考察しましょう。弁護士さんからもお話を聞きたいと思っています。

講師紹介：大阪府立三國丘高校、大阪市立大学出身。法学部で松本博之の民事訴訟法の講義に感銘を受け、民訴法学者になりました。立教大学を経て、2020年に熊本大学に赴任。民訴は、抽象的で難解と言われ、「眠素」と揶揄されるほどですが、公正な制度設計のあり方を問う魅力的な学問なので、面白さを伝えるべく、研究と授業に奮闘中です。

2-2

7月29日(土) 2時限 12:55～14:25

入江 徹美 薬学部 特任教授

テーマ：クスリはリスク？ ～悪魔の薬が命の薬に～

関連教科・キーワード：化学、物理、生物

内容：「薬」という漢字は、「草冠」に「楽」と書きます。古来、薬は「草」などの自然界に存在するものを使って、人の苦しみを「楽」にするものとして、人々の身近な存在でした。薬は人の命を救うものですが、使い方を間違えると人を殺してしまうこともあります。この講義では、薬がつけられる現場、薬が正しく使われる現場を紹介しながら、薬と賢く付き合う方法をお伝えしたいと思います。

講師紹介：福岡県北九州市生まれ。高校時代の化学の先生の白衣姿がかっこいいと思い、熊本大学薬学部に入學しました。40年以上大学に勤め、2年前に退職し、日本で唯一の「医薬品包装学寄附講座」を設立しました。最近覚えた好きな言葉は「プロ・アクティブ」です。

3-1

7月29日(土) 3時限 14:40～16:10

伊藤 弘了 文学部 准教授

テーマ：情報社会を生き抜くための映画分析入門

関連教科・キーワード：高校までのすべての科目、メディア・リテラシー

内容：「映画は遊びの一環として楽しむものであって、大学で学問として研究するようなものではない」と思われるでしょうか？確かに比較的新しい学問領域には違いありません。ですが、新しいからこそできる冒険もあるのです。講義を通して「映画にはそんな見方があったのか！」という驚きを感じてもらえたら嬉しいです。映画は普通に見ても楽しいものです。でも、その先には「知的な楽しさ」の世界が広がっています。ぜひ一緒にのぞいてみましょう。

講師紹介：1988年、愛知県豊橋市生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、在学中にその魅力に目覚めた映画研究を続けるために、京都大学大学院に進学しました。映画研究者＝批評家として、書籍や雑誌、Web記事の執筆、企業や学校の講演などを通して成果を発信しています。YouTuberの動画にゲスト出演したこともあります。熊本には今年引越してきました。

3-2

7月29日(土) 3時限 14:40～16:10

荻原 義弘 医学部医学科 教授

テーマ：病気を顕微鏡でみる ー炎症と感染

関連教科・キーワード：生物学

内容：この数年、「炎症」という言葉を良く聞くと思います。感染症と炎症、免疫は密接な関係にあることは皆さんご存じかと思います。顕微鏡でそのような病変を観察するとさまざまな免疫細胞の役割が推測できます。炎症と免疫、感染の関係について紹介します。今回の講義は、大学生1年生用に作成したものを若干、簡単な内容にしたものです。

講師紹介：熊本大学医学部医学科を卒業して、「病理医」という医師になりました。同時に、大学に勤務して、学生の講義や実習を担当する傍ら、マクロファージという免疫細胞に注目した研究も行っています。

1

7月30日(日) 1時限 10:25～11:55

坂上 拓郎 医学部医学科 教授

関連教科・キーワード：生物、抗医薬薬、自己抗体、Physician Scientist

テーマ：疾患の原因？それとも医薬品？ ー抗体の二面性ー

内容：「コロナの抗体」という言葉をよく耳にしていますが抗体は白血球の仲間が産生する体外から侵入したウイルスなどを攻撃し体を守る道具です。最近ではがんやリウマチなどに対する医薬品としても使用されます。しかし、体に有益なはずの抗体が病気を引き起こすとしたら・・・私達はそういった自己抗体の関係する疾患を研究しています。講義では実例の紹介を通して医学における抗体の二面性を紹介します。

講師紹介：1991年に新潟県立新潟高校を卒業。街のお医者さんを目指していましたが、大学院進学を機に臨床に沿った医学研究が面白くなりPhysician Scientistとして仕事をしてきた呼吸器内科医です。2018年に熊本大学に赴任、コロナの流行と対峙してきました。後進を良い医師に育てる事に励んでいます。

2

7月30日(日) 2時限 12:55～14:25

佐藤 あゆみ 工学部 准教授

テーマ：ライフサイクルデザイン(LCD)がつくる未来の建築

関連教科・キーワード：物理、化学、数学、人間生活、環境

内容：講義では建築材料(コンクリート、鉄、木材、ガラス等)の概要を説明します。そして、建築材料に関係する内容として、環境負荷に配慮した建築のライフサイクルデザインを紹介します。ライフサイクルデザインはSDGs(国連が掲げる「持続可能な開発目標」)にも関係します。ライフサイクルデザインとSDGsを通して、未来の建築を支える技術について、私と一緒に考えていきましょう。

講師紹介：北国の秋田県立大学で、建築材料であるコンクリートの基礎研究に取り組みました。その後、短期間ですが、岐阜大学とスイス連邦工科大学で繊維補強コンクリートについて研究しました。熊本大学に着任してからは、建築物(特に鉄筋コンクリート構造物)の長寿命化に関する技術の開発研究にも取り組んでいます。

3

7月30日(日) 3時限 14:40～16:10

田代 浩徳 医学部保健学科 教授

テーマ：「がん」って遠い将来の病気？

関連教科・キーワード：保健、生物

内容：がんで亡くなる人が多いことはみなさんご存じかと思いますが、でも、がんは大人になっておきる病気だから、みなさんのような若い世代には関係ないと思っているのではないのでしょうか？実は、若くしておきるがんがあります。女性の子宮頸がんという病気はそのひとつです。この病気になると、胎児を宿す子宮を失い、将来、子どもができなくなるばかりか、自分の命も落してしまうこととなります。男性もこの病気に深く関わっています。どうして若くしてこのがんになるのか、どうしたら予防できるのか、一緒に考えてみましょう。

講師紹介：私は保健学科で看護・助産教育を担当しています。また、子宮頸がんなどを扱う婦人科腫瘍専門医でもあり、子宮頸がんの診断や治療にあたっています。ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によって、若くしておきてしまう子宮頸がんに関する基礎研究やHPV感染の予防ワクチン接種や子宮頸がん検診の普及を目的とした啓発活動を展開しています。

高校生のための熊大 ワクワク連続講義 人吉高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和5年度サテライトプログラム募集案内》

9月9日（土）

開催場所：
熊本県立人吉高等学校

2コマ同時開催 10:00～11:30	「企業」の向うとこちらの法律 — 会社法と消費者法 若色 敦子 法学部 准教授
2コマ同時開催 10:00～11:30	国内初の研究分野の確立 (立上げと確実な歩み) を目指して 岩崎 竜之 薬学部 特任准教授

【ご担当の先生方へ】

所定の様式によりおとりまとめのうえ、9月4日までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月9日（土） 10:00-11:30

若色 敦子 法学部 准教授

テーマ：「企業」の向うとこちらの法律 ― 会社法と消費者法

内 容：「会社」とはそれ自体が「人」で、人生を懸けて利益を追求するシビアでクールな存在である。他方、「消費者」とは、知識も判断力も乏しくお人好しで騙されやすい（のだから仕方がない）「人」である。筆者は偶然この両方を同時に研究しているが、そのことで案外面白い構図が見えてくる（この二者は、単に強者と弱者とか非難の対象と保護の対象と言った単純な対立構造ではないのである）。何が面白いのか、という話をしようと思う。

講師紹介：会社法を研究して40年以上、消費者法はまだ30年未満だが、消費生活アドバイザーの資格を持っており、地元の消費者団体（消費者支援ネットくまもと）で活動するなど近年は実務を含め消費者法にシフトしている。

関連教科・キーワード：公共、政治・経済

2

9月9日（土） 10:00-11:30

岩崎 竜之 薬学部 特任准教授

テーマ：国内初の研究分野の確立（立上げと確実な歩み）を目指して

内 容：2年前に熊本大学に国内唯一の「医薬品包装学」に関する講座が誕生しました。

「包装」とは各種製品の「最終製造工程」に当たり、中身を保護するだけでなく、開封や廃棄のし易さ、記載内容のわかり易さ、他との区別のし易さ、素材の環境配慮、製造時の安全性、材料の価格が高過ぎないなどの様々な要素を兼ね備えたものであることが求められます。さらには、同類の他製品にはないより優れた特徴がないと製品として存続していきません。この様な「医薬品包装」を学問として成り立たせる取り組みをご紹介します。

講師紹介：三重県出身。3才児の頃実家裏の神社の灯籠によじ登り、蟻の群れを夢中に観察する余り足を滑らせ下顎を3針縫ってしまうような理系少年のまま大人になってしまった人間。生命関連物質を扱う薬学に興味を惹かれ製薬企業に就職し包装業務を約三十年経験、それを買われ2年前大学教員に転職。

関連教科・キーワード：生物・物理・化学・数学（人間工学・医薬品包装学・利便性向上）

高校生のための熊大 ワクワク連続講義 鹿本高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が
講義をします！

《令和5年度サテライトプログラム受講生募集案内》

9月16日（土）

開催場所：熊本県立鹿本高等学校

2コマ同時開催 13:30-15:00	バイオがひらく未来 ～高校の生物学と社会、将来のキャリアのつながり 梅田 香穂子 大学教育統括管理運営機構 准教授
2コマ同時開催 13:30-15:00	経済学とはどんな学問？ ～ゲーム理論と行動経済学にふれてみよう～ 大野 正久 教育学部 准教授

【ご担当の先生方へ】

所定の様式によりおとりまとめのうえ、**9月6日までに**、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月16日(土) 13:30-15:00

梅田 香穂子 大学教育統括管理運営機構 准教授

テーマ：バイオがひらく未来～高校の生物学と社会、将来のキャリアのつながり

内容：生物学は暗記ばかりで苦痛！という人はいませんか？でも、生命現象の謎を紐解く研究、医療・農業・食品などに応用できるバイオ技術の基盤になっているのが生物学です。本講義では、企業・大学での研究経験を基に、高校の生物学が大学や社会にどうつながっていくかを紹介します。また、研究者・専門職に関心がある人はもちろん、将来やりたいことが見つからない人にも知ってほしい「大学院進学」やキャリア設計についてお話しします。

講師紹介：東北大学農学部卒。大学院を経て遺伝子工学・バイオ技術を開発する会社で働きました。熊本大学に着任後、iPS細胞から肝臓をつくり、再生医療や薬の開発に役立てるための研究に従事。現在は、企業と大学の経験を活かし、企業と連携した授業やインターンシップの企画、研究者・専門職を目指す大学院生のキャリア支援をしています。

関連教科・キーワード：生物学（遺伝子の発現、バイオテクノロジー）、キャリア設計

2

9月16日(土) 13:30-15:00

大野 正久 教育学部 准教授

テーマ：経済学とはどんな学問？～ゲーム理論と行動経済学にふれてみよう～

内容：私たちは、様々なところで、「選択」しなければならない状況に直面します。ゲーム理論は、複数の主体の選択行動について考えていく学問です。ゲーム理論の視点から、経済活動を行う主体の様々な選択する行動をどのようにとらえることができるのかをわかりやすく説明します。また、人間の心理や行動の特徴を明らかにし、経済の問題を考えていく行動経済学についても説明します。

講師紹介：私は、大学生のときに、様々な経済社会問題について、理論的に考えていくミクロ経済学に興味をもちました。この学問について専門的に学びたいと思い、大学院に進学しました。大学院では、財政に関する問題についてミクロ経済学の分析手法を用いた理論的な研究を行いました。その後、環境経済の分野についての理論的な研究も行ってきました。

関連教科・キーワード：公民、政治・経済

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

荒尾・玉名地区

《令和5年度サテライトプログラム受講生募集案内》

9月30日(土)

開催場所：玉名市民会館（マルチホール）
受講対象：高校生および高校教諭等

1限目 9:00-10:30	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から考える国際関係論 阿部 悠貴 法学部 准教授
2限目 10:50-12:20	地球外生命を探せ！～宇宙生物学の挑戦～ 高橋 慶太郎 理学部 教授

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、各学校毎に所定の申込様式（別添資料）によりお取りまとめのうえ、
9月20日(水)までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、9月22日(金)までにご連絡します。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月30日（土） 9:00-10:30

阿部 悠貴 法学部 准教授

テーマ：ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から考える国際関係論

内 容：2022年2月に起きたロシアによるウクライナへの軍事侵攻はとても衝撃的で驚いた方も多かったと思います。もちろん私もその一人ですが、この事件はどうして起きたのでしょうか。その原因はどこにあったのでしょうか。この問題を掘り下げて検討することで、国際政治にはどのような特徴があるのか考えてみたいと思います。

講師紹介：2013年から熊本大学法学部で国際関係論を教えています。学生時代にイギリスの大学院に行き、シェフィールドというところで四年半を過ごしました。また去年は研究休暇をもらい、一年間ドイツのデュイスブルクというところに住んでいました。現在は日本とドイツの安全保障政策を比較することで何が見えてくるか検討しています。

関連教科・キーワード：世界史、日本史、政治・経済、現代社会

2

9月30日（土） 10:50-12:20

高橋 慶太郎 理学部 教授

テーマ：地球外生命を探せ！～宇宙生物学の挑戦～

内 容：地球外に生命はいるのか？これは誰もが興味を持つ重要な疑問で、長らく人類の想像の対象になってきました。ところが近年、太陽系天体の探査、太陽系の外にある惑星の発見、巨大望遠鏡の建設など地球外生命を科学的に研究できる手段が発達してきており「宇宙生物学」という新しい学問が生まれています。この講義ではこれらの話題を解説し、地球外の生命、さらに知的生命にまで思いを馳せます。

講師紹介：子供の頃から宇宙が好きで図鑑や本を眺めていました。大学では物理学を専攻し、大学院で博士号を取得後にアメリカの大学で研究を続け、2011年から熊本大学理学部に勤務しています。たくさんの学生と一緒に天文学の研究や天文学の面白さを世の中に広める活動を行なっています。

関連教科・キーワード：物理、化学、生物、地学

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

～ 令和5年度サテライトプログラム 実施状況 ～

1. 《開催場所》桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール） 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
6/10(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	Organized Humanitarianism - The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化 - 赤十字の誕生」	市民ホール	119	104	100	3	0	1	87%
			小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授								
	2限目 (13:00-14:30)	2	物理が進める医療～熊本発世界の医療へ～	市民ホール	161	137	129	3	2	3	85%
			米田 哲也 医学部保健学科 准教授								
(合計)					280	241	229	6	2	4	86%

2. 《開催場所》水俣高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/8(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	苦手なこと（障害）を改善・克服するための教育	2階会議室	26	20	0	20	0	0	77%
			本吉 大介 教育学部 准教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	体の中を見る！超音波の技術とは？	2階会議室	26	20	0	20	0	0	77%
			田邊 将之 工学部 助教								
(合計)					52	40	0	40	0	0	77%

3. 《開催場所》天草高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/15(土)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	土器が語る！古代のお米調理 —東アジアの食文化史を考えてみよう—	2階1年学習室	9	6	3	1	2	0	67%
			久保田 慎二 文学部 准教授								
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	地域の「活性化」を考えよう！	2階1年5組教室	8	6	2	0	3	1	75%
			吉城 秀治 工学部 准教授								
(合計)					17	12	5	1	5	1	71%

～ 令和5年度サテライトプログラム 実施状況 ～

4. 《開催場所》人吉高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/9(土)	同時2コマ開催 (10:00-11:30)	1	「企業」の向うとこちらの法律 — 会社法と消費者法 若色 教子 法学部 准教授	管理棟3F視 聴覚室	8	7	3	4	0	0	88%
	同時2コマ開催 (10:00-11:30)	2	国内初の研究分野の確立 (立上げと確実な歩み) を目指して 岩崎 竜之 薬学部 特任准教授	教室棟2階1 年2組教室	5	5	2	3	0	0	100%
(合計)					13	12	5	7	0	0	92%

5. 《開催場所》鹿本高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/16(土)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	バイオがひらく未来 ～高校の生物学と社会、将来のキャリアのつながり 梅田 香穂子 大学教育統括管理運営機構 准教授	3階3C教室	19	15	8	3	4	0	79%
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	経済学とはどんな学問? ～ゲーム理論と行動経済学にふれてみよう～ 大野 正久 教育学部 准教授	3階視聴覚室	28	23	11	8	4	0	82%
(合計)					47	38	19	11	8	0	81%

6. 《開催場所》玉名市民会館
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/30(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から考える国際関係論 阿部 悠貴 法学部 准教授	マルチホール	131	98	96	0	1	1	75%
	2限目 (10:50-12:20)	2	地球外生命を探せ!～宇宙生物学の挑戦～ 高橋 慶太郎 理学部 教授	マルチホール	117	83	81	0	1	1	71%
(合計)					248	181	177	0	2	2	73%

サテライト プログラム	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			1年生	2年生	3年生	他・不明	
(総合計)	657	524	435	65	17	7	80%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

～ 令和5年度熊本大学夏季プログラム 実施状況 ～

《開催場所》熊本大学黒髪北キャンパス 全学教育棟 C101教室・C102教室・C201教室・C202教室・C301教室
 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/29 (土)	1限目 (10:25-11:55)	1-1	数学の研究って、何をしているの? —数学の学び方 宮崎 智 教育学部 教授	C101 教室	58	50	32	14	4	0	86%
		1-2	カンブリア爆発と眼の化石の研究 田中 源吾 理学部 准教授	C102 教室	49	37	21	13	2	1	76%
	2限目 (12:55-14:25)	2-1	民事訴訟手続のIT化 —先生、訴訟ってZOOM参加と かできないんですか? 池邊 摩依 法学部 准教授	C201 教室	55	46	24	13	9	0	84%
		2-2	クスリはリスク? ～悪魔の薬が命の薬に～ 入江 徹美 薬学部 特任教授	C202 教室	68	58	29	19	10	0	85%
	3限目 (14:40-16:10)	3-1	情報社会を生き抜くための映画分析入門 伊藤 弘了 文学部 准教授	C101 教室	76	55	29	17	9	0	72%
		3-2	病気を顕微鏡でみる —炎症と感染 菰原 義弘 医学部医学科 教授	C102 教室	43	32	16	11	5	0	74%
7/30 (日)	1限目 (10:25-11:55)	1	疾患の原因?それとも医薬品? —抗体の二面性— 坂上 拓郎 医学部医学科 教授	C101 教室	38	33	21	10	2	0	87%
	2限目 (12:55-14:25)	2	ライフサイクルデザイン(LCD)がつくる未来の建築 佐藤 あゆみ 工学部 准教授	C102 教室	58	41	16	10	15	0	71%
	3限目 (14:40-16:10)	3	「がん」って遠い将来の病気? 田代 浩徳 医学部保健学科 教授	C301 教室	88	71	24	22	25	0	81%
(合計)					533	423	212	129	81	1	79%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

R5熊大ワクワク連続講義 八代サテライト 受講者アンケート

令和5年6月10日(土)

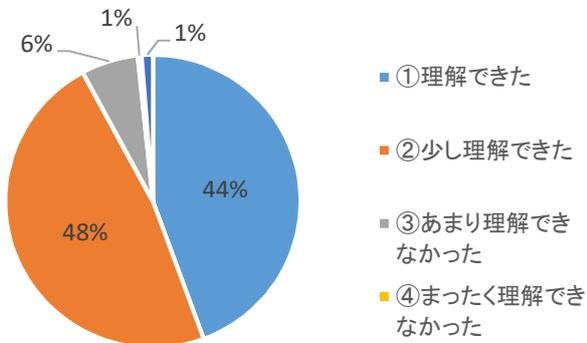
受講者数 241 名

アンケート回答数 241 名

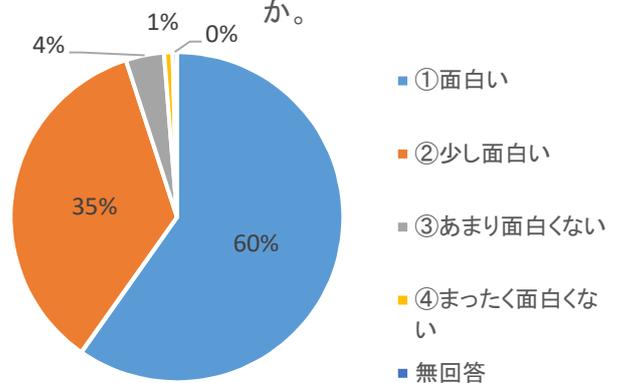
学年	人数
1年	229
2年	6
3年	2
教員・不明	4
合計	241

性別	人数
男	123
女	117
無回答	1
合計	241

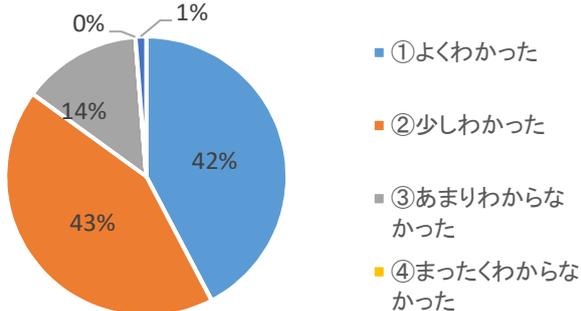
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



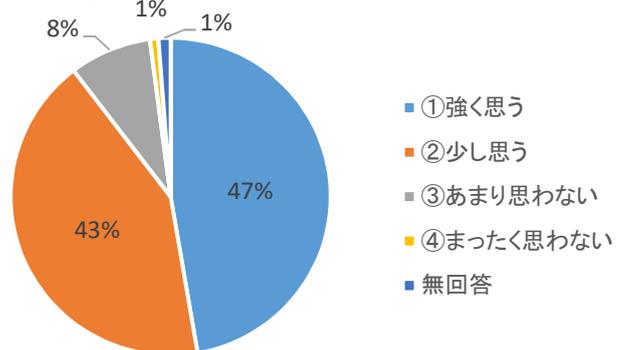
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



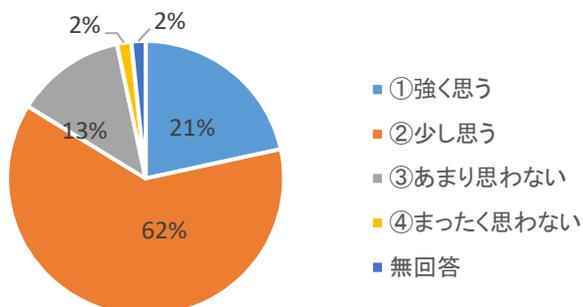
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 水俣高校 受講者アンケート

令和5年7月8日(土)

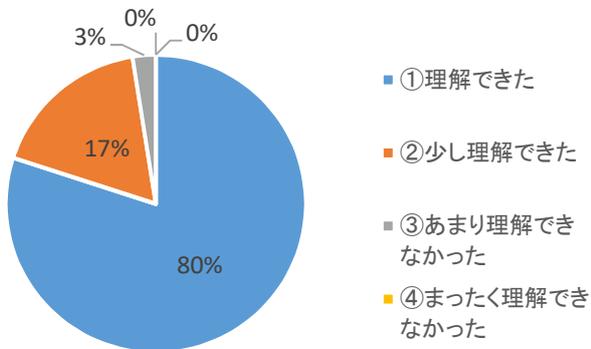
受講者数 40 名

アンケート回答数 40 名

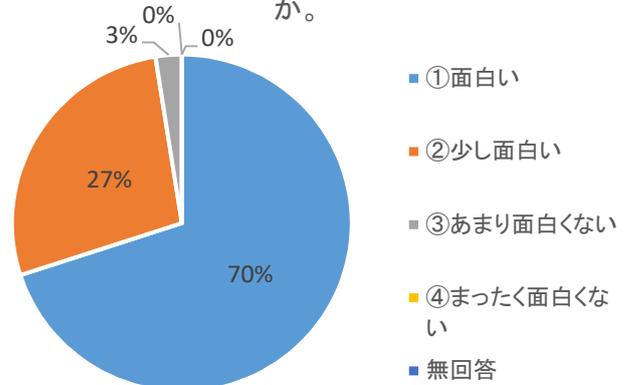
学年	人数
1年	0
2年	40
3年	0
その他	0
合計	40

性別	人数
男	5
女	35
無回答	0
合計	40

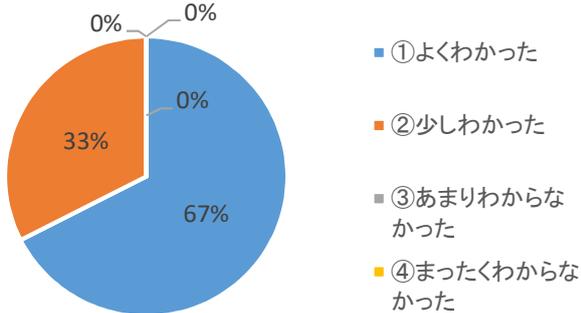
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



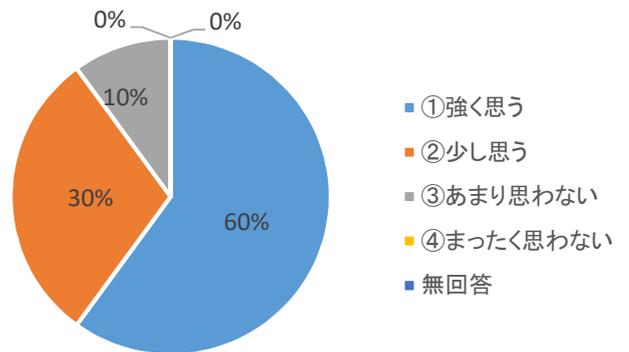
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



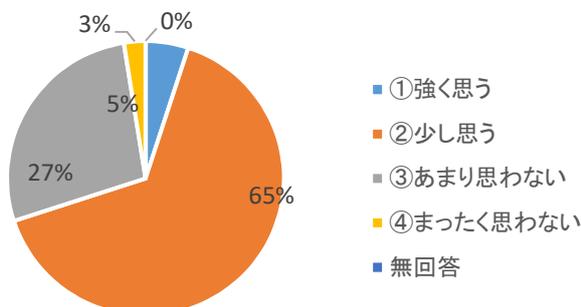
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 天草高校 受講者アンケート

令和5年7月15日(土)

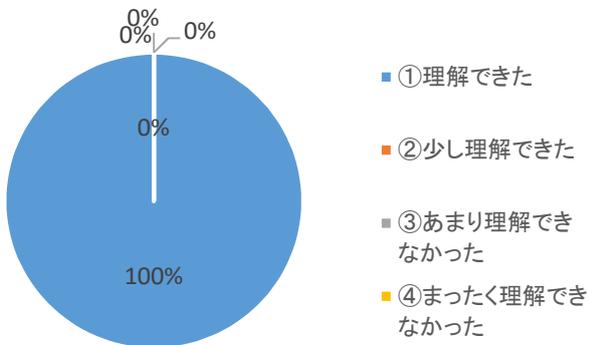
受講者数 12 名

アンケート回答数 12 名

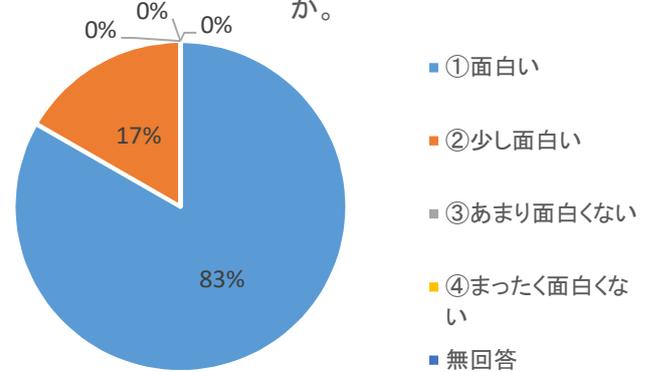
学年	人数
1年	5
2年	1
3年	5
その他	1
合計	12

性別	人数
男	5
女	7
無回答	0
合計	12

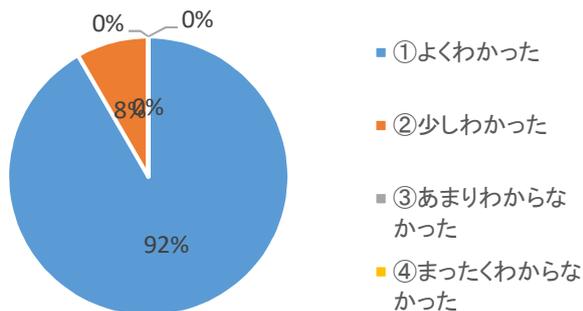
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



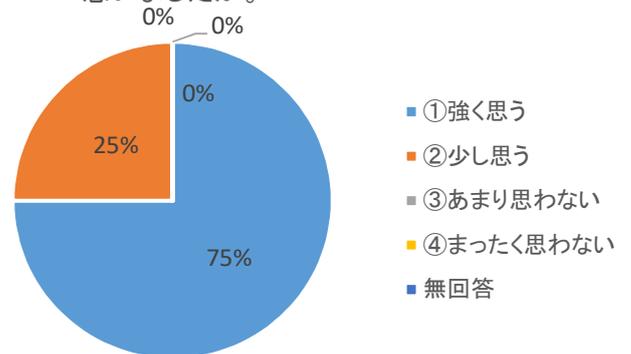
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



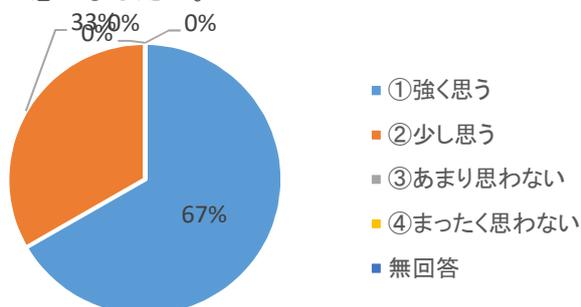
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 人吉高校 受講者アンケート

令和5年9月9日(土)

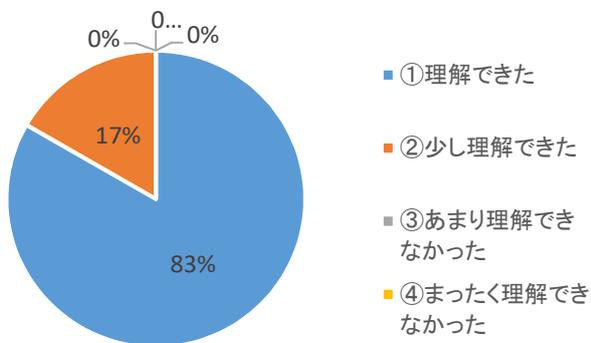
受講者数 12 名

アンケート回答数 12 名

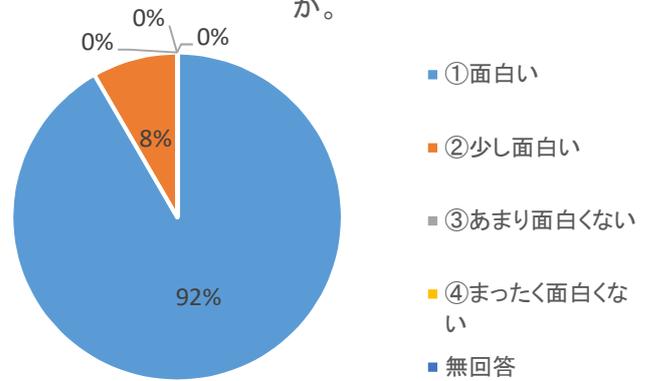
学年	人数
1年	5
2年	7
3年	0
その他	0
合計	12

性別	人数
男	5
女	7
無回答	0
合計	12

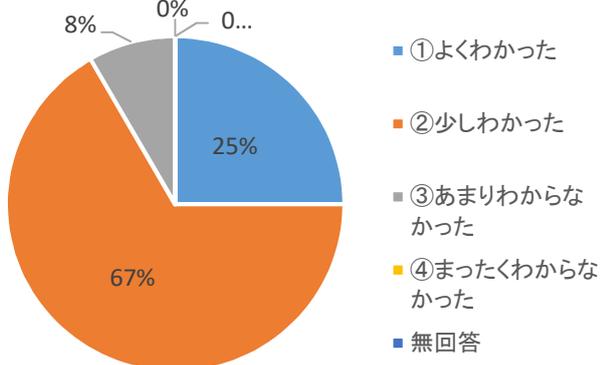
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



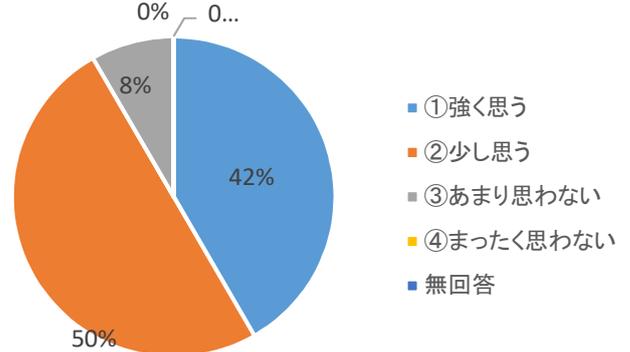
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



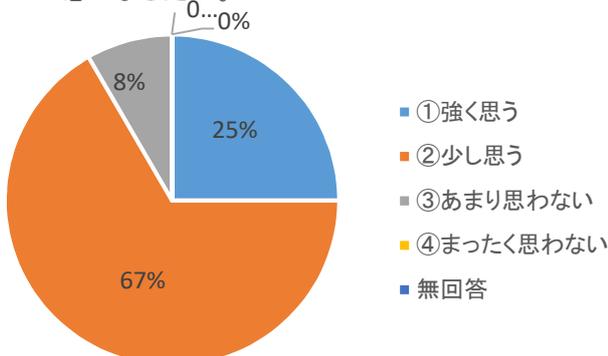
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことにつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 鹿本高校 受講者アンケート

令和5年9月16日(土)

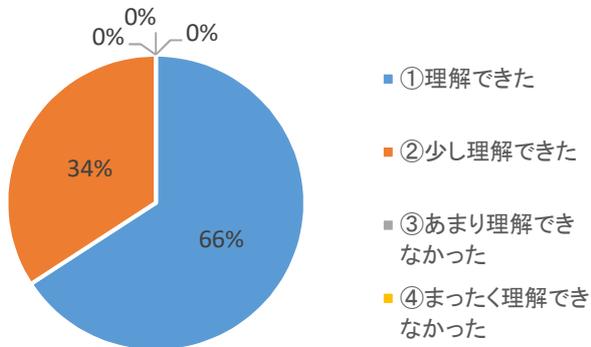
受講者数 38 名

アンケート回答数 38 名

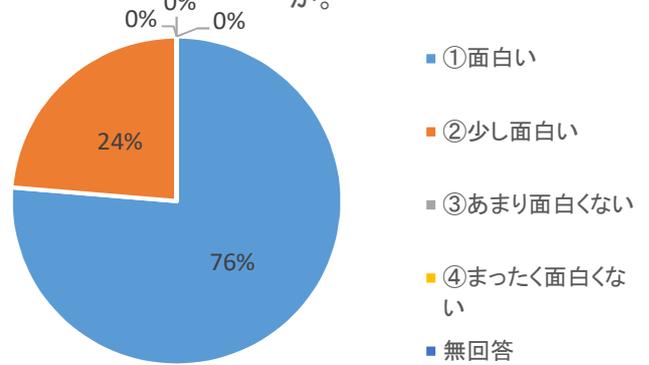
学年	人数
1年	19
2年	11
3年	8
その他	0
合計	38

性別	人数
男	20
女	18
無回答	0
合計	38

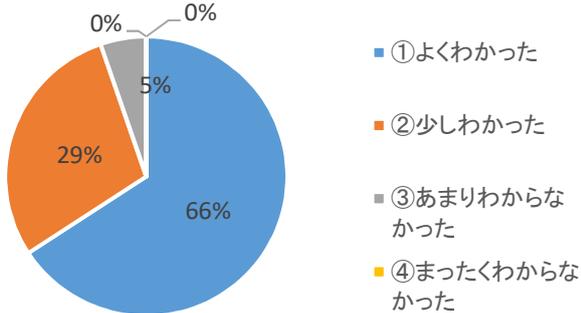
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



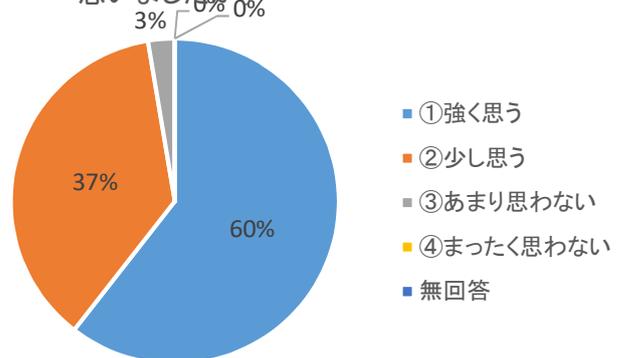
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



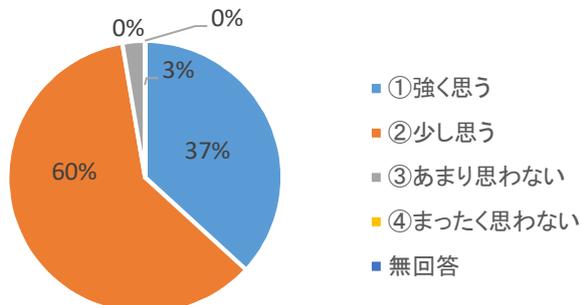
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と
思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 荒尾・玉名サテライト 受講者アンケート

令和5年9月30日(土)

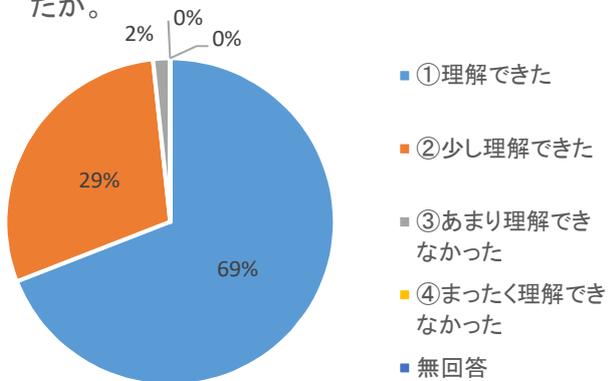
受講者数 181 名

アンケート回答数 181 名

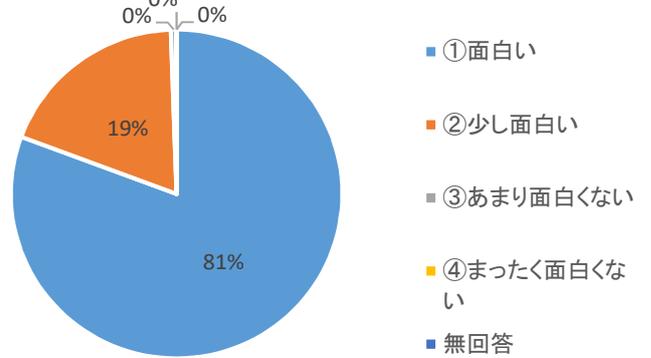
学年	人数
1年	177
2年	0
3年	2
その他	2
合計	181

性別	人数
男	69
女	111
無回答	1
合計	181

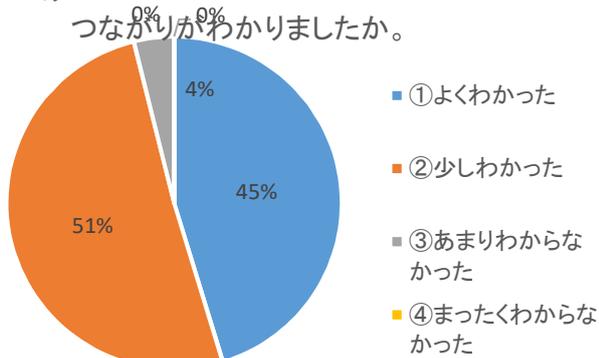
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



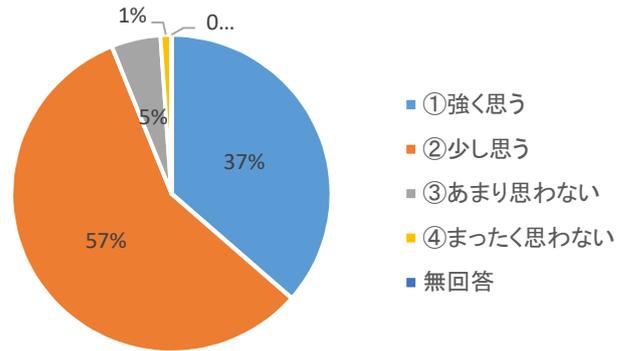
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



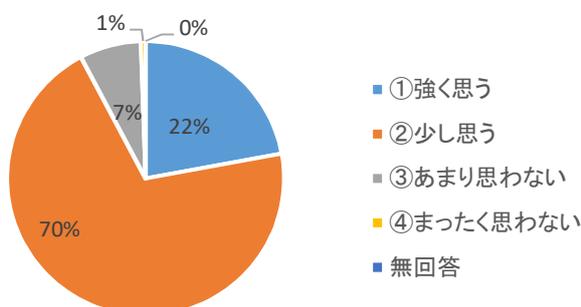
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と思いましたか。



R5熊大ワクワク連続講義 夏季プログラム 受講者アンケート

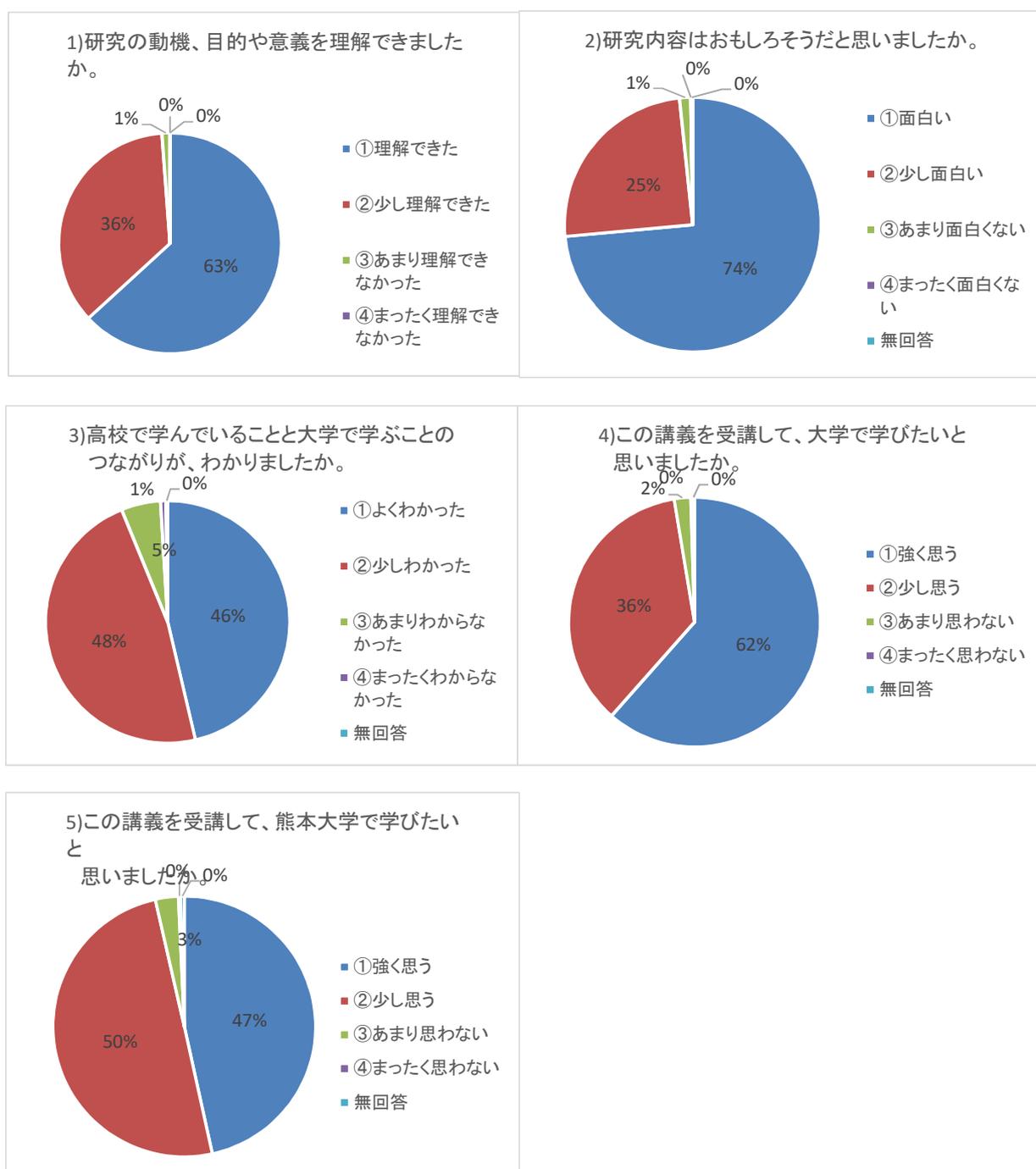
令和5年7月29日(土)、30日(日)

受講者数 423 名

アンケート回答数 423 名

学年	人数
1年	212
2年	129
3年	81
その他	1
合計	423

性別	人数
男	121
女	297
無回答	5
合計	423



令和5年度熊大ワクワク連続講義 全受講者アンケート

申込者数 1190 名

受講者数 947 名

【全講座】

学年	人数
1年	647
2年	194
3年	98
その他	8
合計	947

【全講座】

性別	人数
男	348
女	592
無回答	7
合計	947

1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。

①理解できた	②少し理解できた	③あまり理解できなかった	④まったく理解できなかった	無回答
578	341	24	1	3

2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。

①面白い	②少し面白い	③あまり面白くない	④まったく面白くない	無回答
679	247	17	2	2

3)高校で学んでいることと大学で学ぶことにつながりがわかりましたか。

①よくわかった	②少しわかった	③あまりわからなかった	④まったくわからなかった	無回答
446	429	65	3	4

4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
501	393	44	5	4

5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
316	549	69	7	6

【夏季】

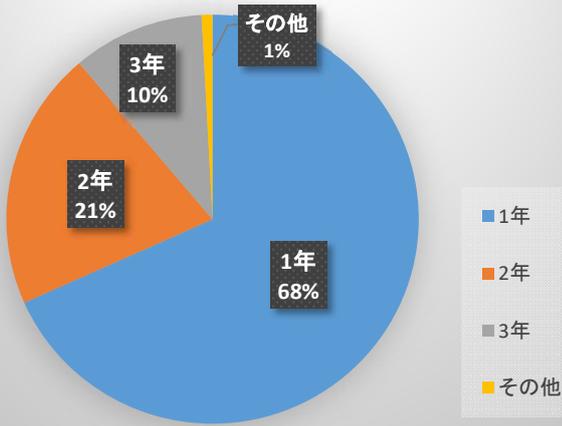
学年	人数
1年	212
2年	129
3年	81
その他	1
合計	423

【サテライト】

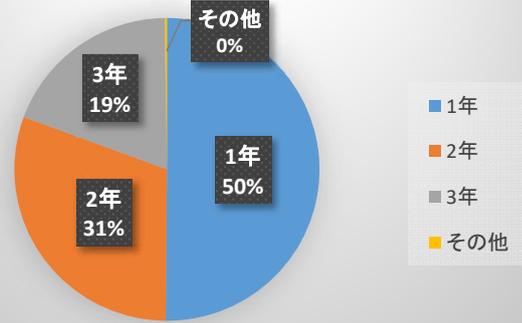
学年	人数
1年	435
2年	65
3年	17
その他	7
合計	524

※その他・・・教員及び学年不明の者

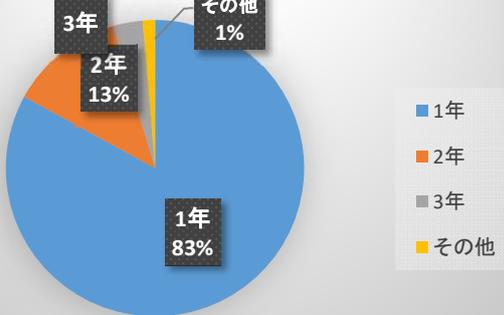
受講者構成(全体)



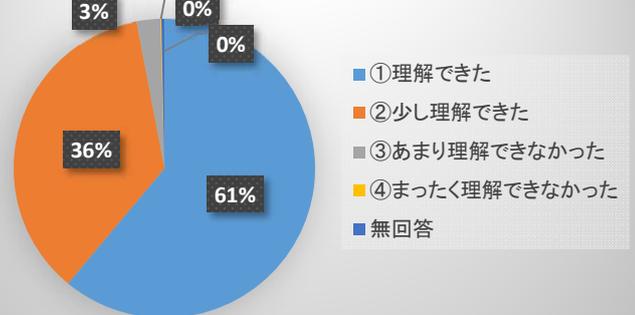
受講者構成(夏季プログラム)



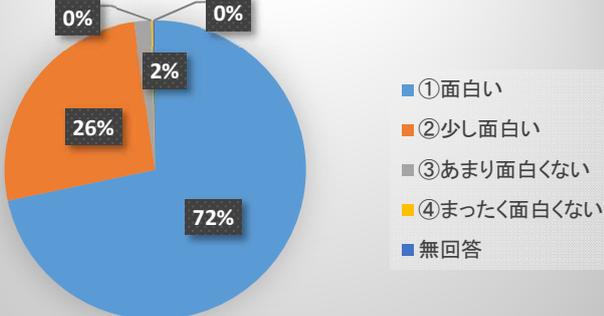
受講者構成(サテライトプログラム)



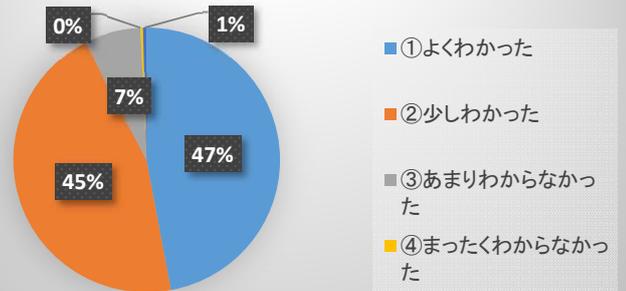
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



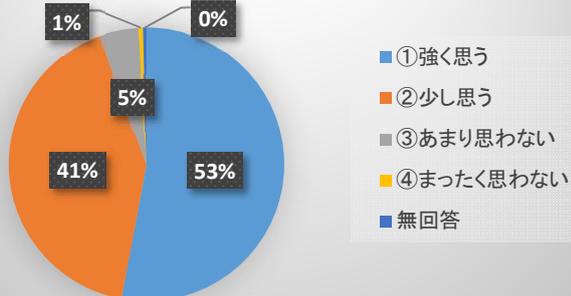
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



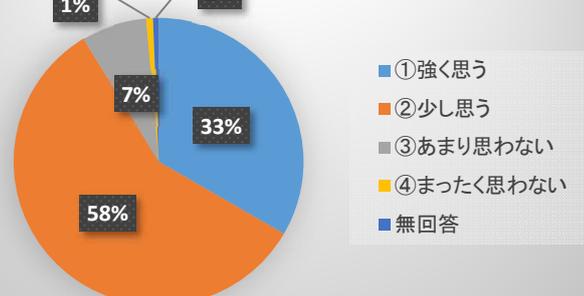
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。



【ワクワク連続講義風景】

【八代地区サテライト】



【水俣高等学校】



【天草高等学校】



【夏季プログラム】



【人吉高等学校】



【鹿本高等学校】



【荒尾・玉名地区サテライト】



3. ワクワク研究室訪問

ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）実施要領

1. 目的

高い学習意欲を持つ高校生が、興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、創造性や才能を伸ばすことができるように、本学の研究室を訪問し、高度な教育・研究に触れる機会を提供する。

2. 趣旨

- (1) 高校生が、興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いて、知的刺激を受ける。
- (2) 高校生が部活等で行っている研究について、テーマと関係がある研究室を訪問し、本学の教員に指導・助言を求める。

3. 実施方法

- 1) 高校生は、別紙申込用紙に希望する学部名（分野）、教員名（わからなければ空欄）、訪問の目的、訪問を希望する時期等を記載し、所属高校を通じて熊本大学高大連携推進室（以下「高大連携推進室」という。）に申し込む。
- 2) 高大連携推進室は、高校生が希望する研究室（教員）について、各学部の高大連携推進委員会委員等を通じて探し、該当する研究室に受諾の可否を照会する。
- 3) 研究室が高校生の訪問を受諾する場合、高大連携推進室は高校に回答するとともに、訪問時期の調整を行う。
- 4) 研究室訪問は、基本的に1～3名、月1回、1時間程度とする。高校生が2回目以降の訪問を希望し、教員が受諾する場合、その時期や回数等は教員の判断するところとする。受諾の可否について、教員は高大連携推進室に連絡する。なお、高校生は、2回目以降もその都度、別紙申込書を高大連携推進室に提出する。
- 5) 高校生に研究室での実験を許可する場合は、実験を開始する前に高校生に保険に加入してもらうので、教員は高大連携推進室に連絡する。実験の費用については、教員と高校との話し合いによって決める。
- 6) 高校生は、研究室訪問後毎回2週間以内にレポートを高大連携推進室に提出する。
- 7) 高校生を積極的に受け入れたい研究室においては、URL等で研究の内容を公開し、高大連携推進室に連絡する。

ワクワク研究室訪問 訪問申込用紙

訪問希望者氏名	(学年：)
グループメンバー氏名 (同行予定者)	(学年：) (学年：)
希望学部名 (分野)	
希望教員名 (空欄可)	

《訪問したい時期について》

第一希望	第二希望	第三希望
時期： 時間帯：	時期： 時間帯：	時期： 時間帯：

これまで興味を持って取り組んできた学習や研究 (活動) 内容について

訪問の目的 (研究室にて指導をお願いしたいことはどんなことですか?)

高等学校指導教員記入欄 ※大学からは高等学校へ連絡をさせていただきます。

高等学校名：

指導教員名：

高等学校住所：

高等学校電話番号 (連絡先)：

FAX：

高等学校 E-mail：

送付先 E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【ワクワク研究室訪問について】

高校生が興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いたり、部活動等で行っている研究について助言を求めるために、テーマと関係のある研究室を訪問するものです。

(1)1回の訪問で、1時間程度、1～3名程度を基本とします。訪問したい時期については、いくつかの可能な時期、曜日、時間帯を書いて下さい。2回目以降の訪問については、訪問した研究室の教員との話し合いで決まります。なお、2回目以降もその都度、高大連携推進室へ申し込みが必要です。

(2)希望する学部（分野）、教員名（わからなければ空欄でよい）、これまで興味を持って取り組んだこと、訪問の目的を記入の上、高等学校の先生を通して高大連携推進室へ提出してください。研究室によっては受入が困難なところもあり、必ずしもご希望に添えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

(3)訪問後は毎回200字～300字程度のレポート提出を2週間以内に高大連携推進室へお願いします。

(4)実験を行う場合は、保険の加入をお願いいたします。また、実験の費用については、研究室の教員と高校との話し合いによって決めさせていただきます。

以上の件をご了解いただき、お申し込みくださいますようお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先・申込用紙、レポートの提出先：

熊本大学高大連携推進室 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1 096-342-2712

FAX:096-345-1954

E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

令和5年度ワクワク研究室訪問実施件数

R6.3.22現在

	学 部	申込件数	実施件数	参加人数		
				生徒	教員	合計
県内	文学部	0	0	0	0	0
	法学部	0	0	0	0	0
	教育学部	0	0	0	0	0
	工学部	0	0	0	0	0
	理学部	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0
	薬学部	0	0	0	0	0
県外	工学部（※オンライン訪問）	1	1	1	1	2
合計		1	1	1	1	2

【訪問者のレポート（全文掲載）】

☆古代都市メッセネ

日本人が60年前から現地調査および研究を始めた。

パルテノン神殿などが見つかったのもこの調査によるものだ。

場所によっては100年程度、発掘調査が必要になる。

特に古代ギリシアは今の都市の元になっている。

メッセネ劇場も発掘され、観客席が円形であることも発見された。700年間の間使われた。

☆古代都市ペラ

「スタッコ」という名前のしっくい建物が塗られている。

赤・青・白の三原色で建物が彩色されている。

☆復元CG

円形闘技場は古代ローマにはたくさんあったため、それをもとにしてCGを作成している。

今後の卒業研究に生かさせていただきます。

この度は、お忙しい中貴重なお話をお聞かせくださりありがとうございました。

4. 高大連携推進關係主要行事一覽

令和5年度高大連携推進プロジェクト関係主要行事一覧

月	日	曜日	実施行事	備考
R5				
4			「出前授業」随時受付開始	
5	30	火	第1回高大連携推進委員会	全学委員会
6			「ワクワク研究室訪問」随時受付開始	
6	10	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト八代	2コマ
6	28 29	水 木	高校教員向け熊本大学説明会	Zoomウェビナー
6	30	金	熊本大学と熊本県高等学校校長会との協議会	
7	4	火	第1回企画専門委員会（書面会議 7/4～7/18）	副校長及び教頭先生とのWG
7	8	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 水俣高校	2コマ
7	15	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 天草高校	2コマ同時開催
7	29 30	土 日	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 夏季プログラム	6コマ（2コマ同時開催） 3コマ
8	21	月	熊本大学入学者選抜等に関する懇談会	
9	9	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 人吉高校	2コマ同時開催
9	14	木	熊本サイエンスコンソーシアムとの高大連携・高大 接続に関する協定調印式及びキックオフイベント	
9	16	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 鹿本高校	2コマ同時開催
9	30	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト荒尾・玉名	2コマ
R6				
2	5	月	第2回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
3	27	水	第2回高大連携推進委員会	全学委員会

令和 5 年度
高校生のための熊大ワクワク事業の記録

発行日： 令和 6 年 3 月

編集： 熊本大学高大連携推進室

連絡先： 096-342-2712